臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和３年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第１号、令和６年４月１日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名]
身体的拘束最小化の取り組みとして、認知症マフ・俵型手袋の効果について
[研究機関名・長の氏名] 国立病院機構 北海道医療センター・病院長　伊東　学
[研究責任者名・所属] 藤村　聡美・北海道医療センター　認知症疾患医療センター
[研究の目的]
認知症マフ・俵型手袋を使用することで、身体的拘束の実施時間や実施頻度にどのような変化がみられるのか明らかにし、身体的拘束最小化への有効性を検討する。
[研究の方法]
○対象となる患者さん
2026年3月1日から2026年10月15日までの間に当院で、身体的拘束を受けていた患者で、認知症マフ・俵型手袋を使用した方
○利用する検体・情報
情報：年齢、性別、身体所見、拘束帯の種類・拘束時間・拘束の原因（胃管や点滴チューブなど）電子カルテ、スタッフからの情報、身体的拘束最小化チームの情報
[研究実施期間]
実施許可日(検体・情報の利用開始：2026年10月頃)～2027年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

＊上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[当院の連絡先・相談窓口]
札幌市西区山の手５条７丁目１－１
国立病院機構 北海道医療センター　認知症疾患医療センター　　担当　藤村　聡美
電話　011-611-8111（代表）